

## 防犯上の「ホットスポット」を知っていますか？

ホットスポットとは、周りから入りやすくて見えにくい、「犯罪が起こりやすい場所」のことです。



緊急事態宣言が解除され、少しずつですが、子供達にも平穏が戻りつつあります。

長く外出できなかった反動から、子供達の活動範囲も広がり、普段は行かない場所へも行ってしまうことがあるかもしれません。

### 入りやすくて見えにくい場所



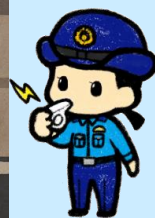
#### ◎フェンス・壁などが無い駐車場やマンションの階段

駐車場は車がありますし、マンションの階段の踊り場は周りから見えにくいので、不審者が身を潜めたり、待ち伏せしたりしやすい場所です。

#### ◎公園の遊具近くにあるベンチや公園の公衆トイレ

公園は色々な人が利用していますが、その中には、子どもを物色したり、公衆トイレに身を潜めたりする不審者が紛れているかもしれません。

### 環境が整備されていない場所にも注意！



#### ◎落書きやゴミがそのまま放置されている場所、樹木が多くて伸び放題で視界が遮られている公園

ルールが守られていない場所は、更に落書きやゴミが増えてしまう、人が寄りつかない等、環境も悪くなってしまいます。

## 地域のホットスポットを点検し、見回りの目を増やして、子供達を犯罪から守りましょう。

ちなみに…

### そもそも不審者とはどんな人か。



絵のように、顔を隠して怪しい動きをしていれば、すぐに不審者だと気づくこともできますが、このような不審者はほとんどいません。

警察で不審者事案として扱った事例でも、外見だけで不審者と判断された例はほんの一部です。

だからこそ、「見える・見せる」パトロールが大切になってきます。

見守り中に、タスキや帽子、社用車に「パトロール中」のマグネットを貼る等、パトロールであることをわかるようにして、「パトロール中の姿を見せること」が効果的であり、これにプラスして「声をかける」ことで、更なる抑止効果が期待できます。

声をかけると言っても、「おはようございます」「こんにちは」と挨拶程度に声をかけるだけで充分なので、無理のない範囲で実施してみてください。

また、普段から見守りを継続することで、「地域で普段見かけない人」が分かってきます。

そんな普段見かけない人が、公園や駐車場で子供達をじっと見ている・子供達に声をかけようとしている等、これはおかしいという状況に遭遇した時には、迷わず警察へ通報をお願いします。

# \* 女性の防犯対策 \*



暗い夜道は女性が性犯罪被害に遭いやすい、犯罪のホットスポットです。  
多くの女性が夜道で被害に遭わないよう気をつけていると思いますが、帰宅途中から自宅等に到着するまで、具体的に注意していただきたいポイントをご紹介します。

## 歩行中…



- なるべく街灯が多い明るい道や人通りの多い道を選んで歩きましょう。
- 住宅街は、一気に人通りが少なくなるので、防犯ブザーをすぐ鳴らせるように手を持ったり、時々後ろを振り返って周囲を警戒することが効果的です！
- スマホを見ながら、音楽を聴きながらは、不審者の気配に気づくのが遅れてしまうので、絶対にやめましょう。

## 到着したら…



- 後を付けてきている人がいないか周囲をよく確認。
- エレベーターで知らない人と2人きりになりそうな時は、なるべく避けましょう。
- 家の中に入るときは、誰もいなくても「ただいま」と声を出して入りましょう。  
※ 声を出すことで、不審者に「誰かいるのかも。」という印象を与え、牽制することができます。

## 日常生活で…

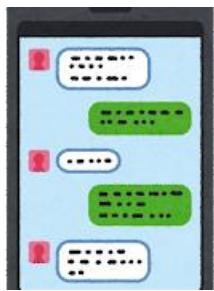


- 下着などは、盗難防止等のため、人の目に付かない場所に干しましょう。
- 網戸のまま寝たりせず、防犯対策をしっかりしましょう。

## 少しの注意で防犯力アップ！



## 宅配業者を装ったショートメッセージに注意！



お荷物のお届けにあがりましたが不在の為  
持ち帰りました。ご確認ください。

<https://■■■■.org>

### こんなショートメッセージ届いていませんか？

CAUTION CAUTION CAUTION CAUTION CAUTION CAUTION

## 添付のURLにアクセスしてはいけません！

アクセスすると「お客さまがご利用の〇〇銀行に対し、第三者からの不正アクセスを確認した」と等とメッセージが表示され、**本物とそっくり**の銀行のインターネットバンキングの**偽サイト**が表示されます。

ログイン画面に口座番号、暗証番号を打ち込んでしまえば情報を盗まれてしまい、不正アクセスされてしまいます…！



**注意**

大手宅配業者はショートメッセージで不在通知はしません。  
メールに添付されているURLには安易にアクセスしてはいけません。  
個人情報を入力する際は、正規のサイトか必ず確認しましょう。